

ライオンズガーデン調布ヶ丘管理組合 御中

「ハリウッドの大寒桜」、ソメイヨシノ 3 本  
治療（土壌改良）  
写真報告書

作業日：2025 年 5 月 10 日、12 日 8：30～16：30

内 容：C～E ソメイヨシノ 土留、周囲低木撤去、土壌改良、マルチング

A、B 根系観察用箱確認

施工者：きのこと 菊地仁司 篠田 亮、土屋光司、他 3 名

作業写真：C～E ソメイヨシノ 土壌改良、マルチング

- ・根元周囲の低木を撤去し、円形に設置されていた土留（仕切り材を撤去）を撤去
- ・Cについては除去可能であったため、埋設されていたパーライトと不織布を撤去
- ・根元周囲に坪穴を各6～10箇所掘削し、土壌改良資材での埋め戻しと液肥施用を実施
- ・根元周囲に乾燥防止のため「カヤ」をマルチング



C 低木、土留撤去前



C 埋設パーライト、不織布撤去中



C 低木、土留撤去後



C 埋設パーライト、不織布撤去中



C 土壌改良、マルチング後



C 土壌改良中



D 低木、土留撤去前



E 低木、土留撤去前



D 土壌改良中



E 土壌改良中



D 土壌改良、マルチング後

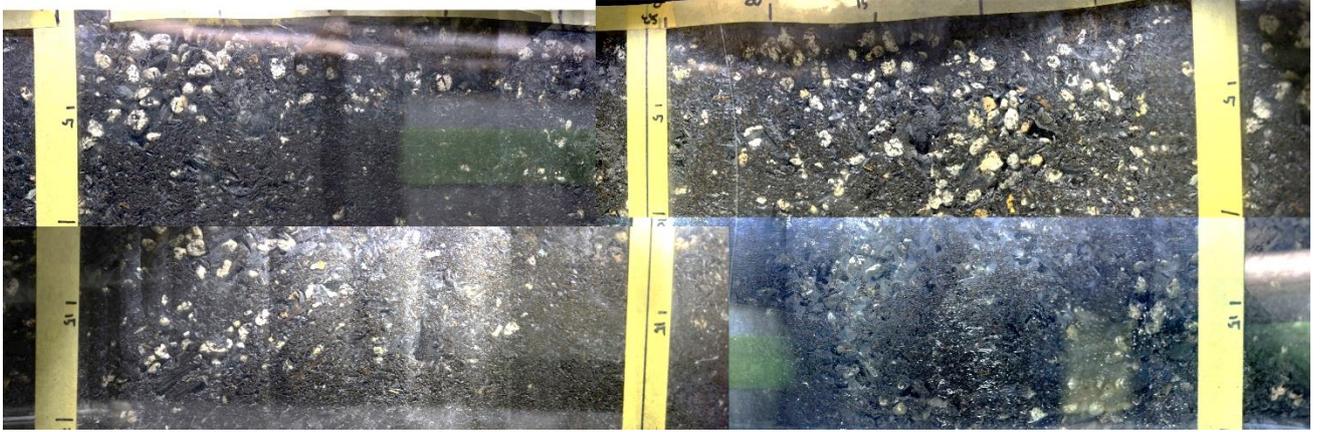


E 土壌改良、マルチング後

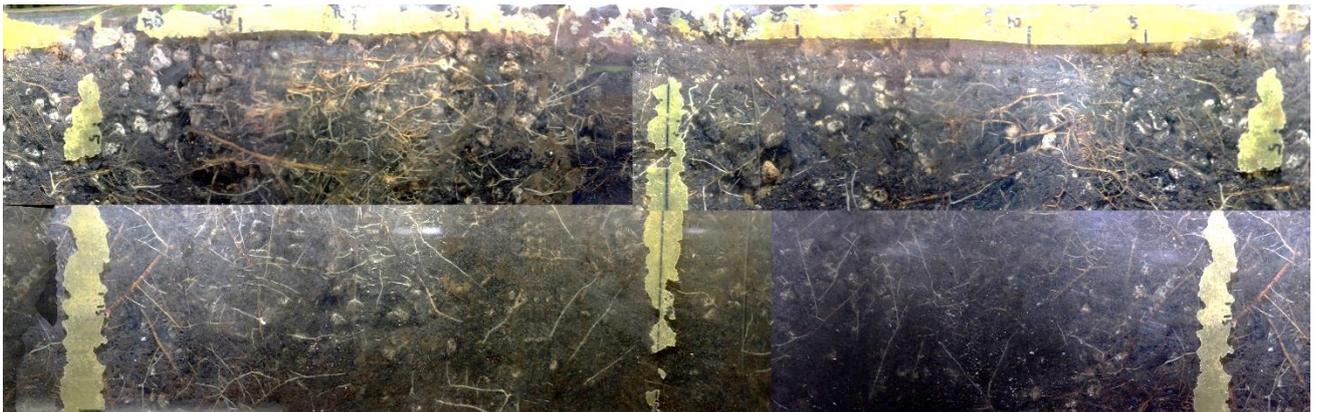
- ・根系観察箱埋設（A では円筒の亚克力ボックスを埋設し、iPhone にてパノラマ撮影）

A 根系観察箱確認（左端及び右端のテープは同じものとなります）

2024 年 5 月 30 日設置時



2025 年 5 月 12 日今回作業時撮影



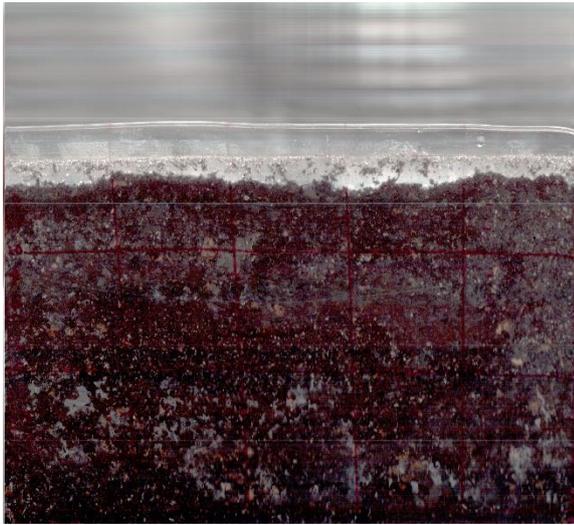
上が昨年設置時の状況で、下が今回のものとなります。昨年の時点では設置直後ということもあり根が全く確認されませんでした。1年経過し、全体的に細根が伸長しているのが確認されます。観察箱は左写真の○に真設置されていますが、この観察結果から根元周囲に根が増加してきていると推測されます。



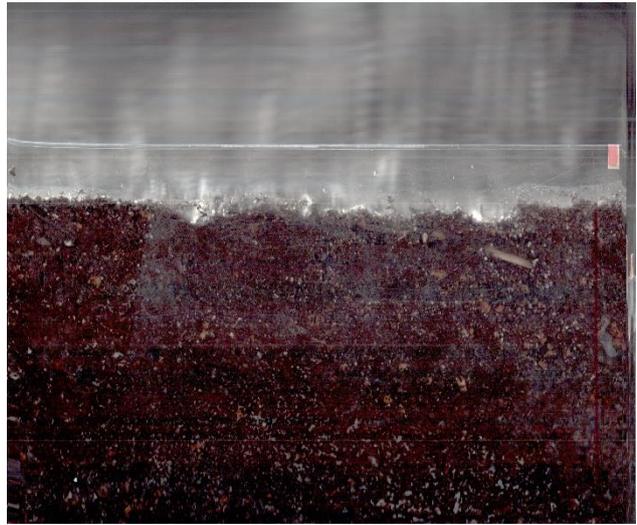
A の根系観察箱位置○

・根系観察箱観察（Bでは長方形のアクリルボックスを埋設し、ハンディスキャナーにて撮影）

2024年5月30日設置時

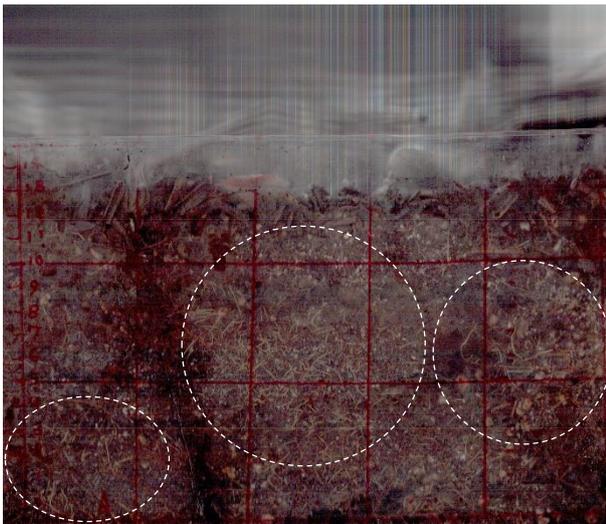


B根系観察箱埋設 根元側

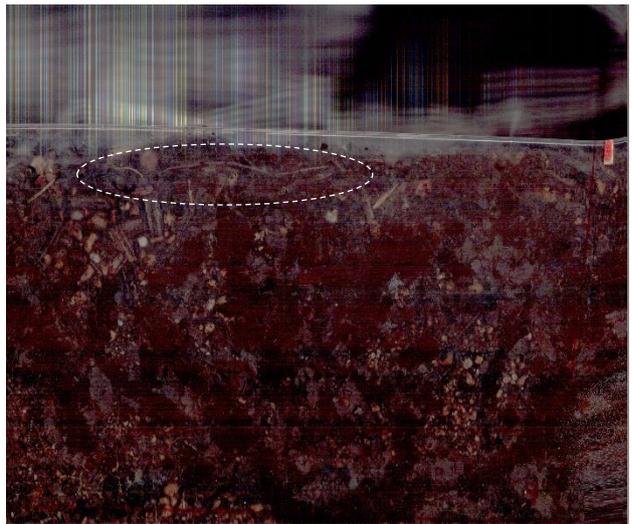


B根系観察箱埋設 不定根誘導管側

2025年5月12日今回作業時撮影



B根系観察箱埋設 根元側



B根系観察箱埋設 不定根誘導管側

上が昨年設置時の状況で、下が今回のものとなります。A同様に昨年は確認されなかった根が2面あるうちの根元側には細根が多く伸長しているのが確認されます。不定根誘導管側には土壌表面にわずかな根が見られますが、不定根が順調に伸長してくればこの面にも根が確認されてくると予測されます。

Bの根系観察箱位置□



以上が今回実施したサクラの治療（土壌改良他）となります。保全管理と合わせて今回確認したA、Bそれぞれの現状を下記に御報告させていただきます。

#### A オオカンザクラの現状

前回よりも枯枝が少なく、胴吹き枝の葉が増加しており、樹勢回復傾向にあると言える状態が昨年から続いております。葉の小さい枝などは引き続き見られることと、胴吹き枝が少しずつ成長してきていることから、徐々に枝の更新を行っていく必要があります、そのためにも土壌改良も引き続き少しずつ行っていくことが望ましいと考えられます。

#### B オオカンザクラの現状

A同様に前回よりも枯枝が少なく、胴吹き枝が伸長し、葉の量が増加しています。これからの夏の影響を見た上で判断をしていく必要がありますので、こちらもA同様、少しずつ土壌改良を継続していくことが望ましいと考えられます。

今まで実施してきた不定根誘導（2022年に東側大枝の欠損部、2023年にコフキタケの発生していた根元、2024年に大枝基部からの誘導管設置）について、来年には一度開放して不定根発生の状況を確認する必要があります、根の発生状況によって、再度不定根誘導の処理を行うか、あるいは十分な発根が見られるために開放してさらに根の成長を促すかの確認をさせて頂ければと存じます。



昨年確認した東側大枝は再処理が必要



根元的不定根誘導実施箇所

#### C～E ソメイヨシノの現状

昨年同様、ソメイヨシノ3本について、保全管理において一部取り除きましたが、がんしゅ症状の枝がまだ多く残っています。がんしゅ症状の発生している枝は今後衰退、枯れていくと推測されます。今回土壌改良をC～Eの3本に対して実施させて頂きましたが、効果が見られるのには時間がかかるのと同様に、今回行った範囲以外にも土壌改良を行っていくことで新しい枝葉の増加に繋がっていくため、次回以降も土壌改良を継続させて頂ければと存じます。

## 参考：iPad を用いた 3D スキャン例

今回、試験的に 3D スキャンを行ってみました。成長変化の記録に耐えうるデータとなるかどうかを確認するために行ってみました。結果としては大枝の骨組みや樹形を記録するためにはわかりやすく有効である可能性が示唆されました。定期的に記録を取っていくかどうかはわかりませんが、今回実施した例を下記に記載させていただきます（A オオカンザクラ）。

### A オオカンザクラの根元、幹



### A オオカンザクラの全景、樹形



上記は「Scaniverse」というアプリを iPad で使用した例となります。LiDAR センサーを搭載している iPadPro での記録も行いましたがデータの表示ができなかったため、上記のみ御報告で上げさせていただきます。